

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【人権に関する 道徳の授業 実施】	各学年の道徳の授業において、人権に関する題材を年間計画に盛り込み、生徒の人権意識を高めることを念頭に置いて授業を実施した。 成果 クラスでのいじめ問題を扱った生徒に身近な資料や、国際社会での問題といったグローバルな題材など、生徒が多様なものの見方や共感的な理解をするのに役立った。 課題 リモート授業期間などによって年間計画がずれ、行事とのつながりなど、本来意図する実施時期とずれてしまった授業があった。年間授業数が限られているため、生徒の実態を見ながら臨機応変に計画を入れ替えるなどの対応が必要である。
2 実践2 【IBI・JRC 委員会による行事的な活動】	毎週月曜日に正門の前に立ち、登校した生徒一人一人にむけて声をかけるあいさつ運動を行った。さらに、IBI・JRC委員が中心となってボランティアを募り、坂本小学校付近と本校前で、地域に向けて朝のあいさつ運動「さわやかマナーアップ運動」を行った。  また、1・2年生合同でのいじめについて考える集会である「IBIフェスティバル」を計画した。 成果 さわやかな学校の雰囲気をつくり、生徒一人一人の自己存在感を高揚させることができた。マナーアップ運動では、小学生と協力してさわやかにあいさつ運動を行うことができ、小中の連携が深まった。 また、IBIフェスティバルは生徒が企画立案し、人権問題について考える場となっている。 課題 生徒数の減少により、活動の形態や規模を変えなければ立ち行かない場面が多々あった。来年度以降は原点に立ち戻り、全員がIBI（いじめ撲滅委員）であることを踏まえ、縦割活動に盛り込みながら全校生徒で継続して取り組んでいく必要があると考えられる。